

	5月審議会時の 素案ページ数	質疑等	対応(ページ数は8月1日審議会時素案のもの)
1	全体	「まち」という言葉について、ひらがなと漢字(街)が混在します。完全な統一は難しいとしても「まちづくり」という言葉はひらがなに統一する、といった対応は必要と思います。	ひらがなの「まち」で統一した。(P5第2章(2)都市環境 6行目、P7第3章 1望ましい環境像の写真上の説明分9行目で「街づくり」と記載していたものをひらがなに て修正した。)
2	全体的に	写真や挿絵など、市内の環境行政に関係する写真にしたらいかがでしょうか？ク リーンセンター、市野谷の森、オオタカ、代表的な河川など。	P7 第3章に流山市総合運動公園の写真を掲載した。
3	3-4頁	今井委員から審議会中に「第2章の課題に基本目標5が位置づけられていない」と いう指摘がありました。この点については、対応をご検討いただいたほうが良いと 思います。課題があるから目標を設定するはずなので、第2章に位置づけるべきと いう指摘は妥当なものと思います。例えば、(2)の都市環境において、「まちが急激 に発展していく中で、今まで以上に各主体が協力することが必要」といった文脈で あれば課題5を位置づけられるのではないのでしょうか。また、環境省の脱炭素先行 地域等の取り組み事例を見れば、関係する主体が協力し合って脱炭素に向けて進む 必要があることは明らかです。こういった視点については、(3)の環境負荷で位置 づけることも可能と思います。	P6 第2章(4)市全体の推進体制 を追加し、基本目標5について記載済み。
4	4頁(3)環境負 荷	現状の文章が、他の項目と比較して、箇条書きになっているのが気になります。ま た、温室効果ガス排出量の話とゼロカーボンシティの話は関連するので、連続して 記載した方が良いと思います。	P6 第2章(3)環境負荷について、文を修正しました。
5	7頁	キリがないのでここを例に示しますが、各基本目標のところに各目標に関係する小 さなアイコンが示してあります。アイコンの位置が真ん中であったり下に寄ってい たり、きれいではありません。全体的にこういったずれが多くみられるので修正して ください。	アイコンについて修正しました。
6	8頁～	SDGsのマーク、鮮明にしてください。	P9 第3章等、SDGSのマーク修正しました。
7	基本目標	施策の方向と市の取り組み、指標は一致しているとわかりやすいです。	P10 第3章 基本目標1の市の取り組み欄の各項目の記載の順番を変更した。

8	9頁.基本目標1の指標	生物多様性戦略の観点では、市の生態系保護の観点の指標を入れるべきではないでしょうか。②緑の活用は市内の緑に満足している・・・という現状の項目で良いように感じます。③農地の活用は遊休農地の指標で良いと思います。④水辺の保全はストレートに水質といった項目にしてもいいかもしれません。	①P10 第3章 基本目標1の指標について、市の生態系保護の観点については指標となる項目がないため本計画には追加しない。 ②P10 第3章 基本目標1の指標のことを指しているのであれば、「市内の緑に満足している市民の割合」の指標は本計画の指標に残す。 ③ 第3章 基本目標1に記載していた、遊休農地の指標は、総合計画の指標から外したことを担当課に確認。本計画の指標から削除した。 ④P10 第3章 基本目標1の市の取り組みの項目名にある「水辺の保全について」は、水質のみではなく、水辺全体の環境保全という意味合いで考え、変更なしとする。
9	9頁.基本目標1の指標	住み心地が良いまちの指標は、この目標とはなじまないと思います。何をもって住み心地が良いと回答しているかはわかりません。	P7第3章 流山市が目指す望ましい環境像にて、「自然と都市が調和し、心安らぐ住み続けたいまち流山」と記載しているので、住み心地が良いまちの指標は残す。また、住み続けたいまちという指標が基本目標1と基本目標4にどちらにも当てはまると考え、それぞれの指標欄に掲載した。
10	9頁.基本目標1の指標	市内の緑に満足している市民の割合という指標ですが、なぜR2年に目標値が下がっているのでしょうか？	P10 第3章 基本目標1の「市内の緑に満足している市民の割合」について担当課に確認したところ、令和元年度末の流山市総合計画策定時の際に、実績値に合わせた目標値へと変更したものと考えるとの回答だった。
11	10頁.	公園・緑地・街路樹・・・の部分、吸収源倍増の「倍増」の表現は改めた方がいいのでは？	P11 第3章 基本目標1の市の事業紹介のタイトルにて、「公園・緑地・街路樹・グリーンチェーン認定宅地によるCO2吸収源倍増」⇒「公園・緑地・街路樹・グリーンチェーン認定宅地によるCO2吸収源増加」へ修正した。
12	11頁 市の取り組み	1つめに「省エネルギー化への取り組み」と記載がありますが、ここに書かれている、再エネの推進や吸収源対策、緑のカーテン、熱の有効利用はいずれも省エネルギーとは関係ありません。タイトルを見直した方が良くかもしれません。	P12 第3章 基本目標2 市の取り組み欄のタイトルを「省エネルギー化への取り組み」⇒「省エネルギー化等への取り組み」へ修正した。
13	11頁 市の取り組み	省エネルギー化の取り組みのうち、「環境負荷の大きい自動車からの転換」は、タイトルを変更しないのであれば、都市と交通の脱炭素化の方がなじみます。	P13 第3章 基本目標2 市の取り組み欄記載の、「環境負荷の大きい自動車からの転換を行います。」の文言は、市の取り組み欄「省エネルギー化への取り組み」に記載していたものを、「都市と交通の脱炭素化」へ移動しました。
14	11頁	電気自動車、充電設備への言及がありますが、本当にこのような施策に取り組まれるのでしょうか？	流山市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)P13に記載あり、流山市でも取り組んでいる。
15	11頁	年と交通の脱炭素化について、流山であれば、特に便利なエリアについて自家用車を手放す判断を促すような施策も組み込んでよいと思います。歩道や自転車道の整備なども有効な策だと思います。	P13 第3章 基本目標2の市の取り組み 「都市と交通の脱炭素化」にて、「実用性の高い自転車ネットワークを形成します。」と文言を追記した。

16	12頁	市の事業紹介として、省エネ設備や再エネの活用の部分について、市が補助金などを行っていることも明記した方がよいのでは？	P14 第3章 基本目標2の市の事業紹介 の「省エネルギー設備や再生可能エネルギーの活用について」の6行目にて、「補助金制度の運用により」と文言を追記した。
17	12頁 指標	交通関係の指標が多いですが、交通関係の取り組みは環境政策課の管轄外と思われるので、これを中心的な指標にするのは適切でないと思います。(もちろん横でしっかり連携しています、と言うのであれば良いのですが、私はそこまで連携されている印象は持っていません)	P13 第3章 基本目標2の指標で、交通関係の指標は環境問題に関係するものが少なからずあると考えるので、大幅な削減は行わない、ただし、基本目標2の指標にあった「快適に移動できる道路網の整備がされていると感じている市民の割合」は環境の関連性は薄いと考え削除した。
18	13頁	基本目標3の施策の方向②について、関連自治体との連携は基本目標1,2,4にも本来位置付けられてよい内容と思います。ここに位置づけるのであれば、他の基本目標にも位置付けることが必要です。あるいはこの内容は基本目標5に位置づけてもいいのでは？流山に関係する全ての関係者をオール流山と理解すれば可能と思います。	P14 第3章 基本目標3 施策の方向②にあった「国・県の廃棄物行政や関連自治体との連携」については削除した。代わりに、P18 基本目標5 施策の方向④を追加し、「国・県、他市町村や、関連自治体との連携」とした。
19	14頁	過年度実績について、なぜ資源化率の目標を近年10%近く下げたのか(実際には資源化率は向上したにもかかわらず)、また最終処分りょゆもなぜ目標値を倍以上に引き上げたのか、そして処分量の目標値を引き上げたのか(実際には大幅に減少したにもかかわらず)不明。	P14 第3章 基本目標3 目標指数の進捗「資源化率」について 平成23年3月に発生した東日本大震災に係る東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により流山市がホットスポットとなったことから、それまで路盤材等で再利用できていたスラグ等焼却残さ及びたい肥化していた剪定枝の全量を最終処分しなければならなくなりました。これにより資源化率の低下及び最終処分量が増加し、前計画(H21～H30)終盤の目標値達成は極めて難しいものとなっていました。その状況を踏まえ、平成31年3月に策定された一般廃棄物処理基本計画策定時点(基準年度H29年)でも、資源化率及び最終処分量の改善は見込めないと判断されたため、現目標値が設定されました。 しかしながら、令和元年以降早い時期にスラグの再利用、剪定枝資源化の再開及び新たに焼却灰の再利用が開始されたことから、現在、資源化率及び最終処分量の目標値は達成されています。
20	17頁	指標について、講演会や勉強会など環境学習・環境教育の実施回数などを含めてみたらいかがでしょうか？	P19 第3章 基本目標5の目標指数の進捗の項目にて掲載した。
21	21頁	図の真ん中、環境像の文字、折り返しは適切な箇所です。また基本目標の内容を赤字で書いていますが、読みやすくなよように思えます。太字にするなど工夫が必要です。	P23 第4章 環境基本計画に基づく実行計画の推進の文字や図について修正した。
22	31頁	上の表の赤字がわかりづらい。下の図の単位は適切ではありません。t/年、g/日という記載の方が良いです。原単位という言葉も一般の方にはなじまないと思うので、1人1日発生量といった記載に変えた方が良いでしょう。	P33 第4章 3「流山市一般廃棄物処理基本計画」の推進の(2)進捗状況①ごみ処理量の、「資源化率と最終処分量」の赤字および「ごみ発生量と原単位」の表記について修正済み。
23	31頁	リサイクルの表間違っていないでしょうか？例えH30年のところ、紙類の総量が6623tですが、新聞だけで6623t排出しています。他の部分も見直してください。	P33の第4章 3「流山市一般廃棄物処理基本計画」の推進の、(2)進捗状況②リサイクルにて、表数字を修正済み。
24	33頁以降	算出式の説明の部分。半角・全角まぜない。	全角で統一し、修正済み。